

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年3月1日

事業所名 しあわせ駅 八重瀬

		チェック項目	はい	どちらとも えない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			用途に応じて部屋を分けている。 学習室やプレイルーム用とに合わせ机・トランポリン・ハンモック・ボルダリング等の環境整備を行っている。	
	2	職員の配置数は適切である	7			適切に配置しており、個々の事情に合わせた職員の勤務時間の調整も行なっている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		2	5	トイレ、風呂場に手すりは設置しており、車椅子の動線の確保をするよう工夫もしている。	玄関やトイレの段差等は、見直しが必要で、現在は、踏み台で補っている。今後、改善していきたい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	1	5	1		業務改善のためのミーティングを常に行っているが、今後さらに明確な目標設定と振り返りを強化していきたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	1		定期的に評価は実施しており、保護者の意見を反映できるよう連絡帳やラインも活用している。	保護者の意見を積極的に取り入れ、業務改善ができるように努めていきたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	1		ホームページにて公開している。	今後、おたより等でもお知らせしていきたい。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		3	4		検討中である。
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1		本社にて研修をおこなっている。 社内でも全職員読み合わせを行っており、休日異なる為2回に分けて実施するなどの工夫もしている。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7			全職員で確認している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	1	5	1	一人ひとりの特性を話し合いアセスメントツールに取り入れている。	個々に合わせたアセスメントツールを使用しているが、今後も見直しを図っていきたい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	1	6		職員で話し合いを行い、提供する内容を選定している。	活動内容がマンネリ化しないよう今後、さらに工夫していきたい。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	1	6		職員で話し合いを行い、提供する内容を選定している。	全支援員の意見を取り入れ、支援がマンネリ化しないよう工夫していきたい。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	4		支援時間や季節ごとに、活動できる内容や活動範囲を考え、支援時間を有効に使えるよう心がけている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	2		普段の児童の様子をミーティングを行い検討している。	スタッフ全員が、児童一人ひとりの児童の状況・特性を把握できるよう心がけているが、今後職員間の情報共有も徹底して行なっていきたい。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	3		白板を活用し、その日の迎え予定を立てている(時間・車・職員名等)。	業務分担当は行っているが、さらに明確な役割分担を行い、時間が取れない場合は、申し送り等を活用しこまめに情報共有を行うなど、体制を整えていきたい。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	5		職員同士子どもの送迎の様子や保護者からの連絡事項を情報共有している。	その日に振り返りの時間を確保することが難しい場合は申し送りに書く記録の際、話を(共有)する時間もあるので工夫して時間を確保していく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	1		児童の支援内容を話し合い検証・改善に努めている。	日々の記録は必ず行っているが、より良い支援に繋げていくためにも職員同士で情報の共有など徹底して行って行きたい。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7			児童発達支援管理責任者以外の職員も参加し意見を述べる機会を確保している。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	3	4		ガイドラインに沿った支援を心掛けている	ガイドラインをもっと意識しながら、活動の組み合わせを行い、さらに業務改善を重ねていきたい。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	2		担当を固定せず全員で見守れる体制を心掛けている。出来るだけその児童の様子・現状を把握している職員が参加できるよう体制を整えている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6		1	送迎時等にこまめに情報交換を行うなど、情報共有に努めている。また、全職員での確認・共有を行うようしている。	

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	22	1	4	2		対象児がいらない為、現在は行ってないが、必要に応じて対応していきたい。	
	23	4	3		電話・送迎時に相互理解に努めている また、担当者会議を設けるなど、他機関と連携を密に情報交換を行っている。	今後職員間での情報共有を徹底していきたい。	
	24	2	3	2	就業支援先の様子など 情報共有を行っている。		
	25		3	4		現在改善中である。	
	26		2	5		現在改善中である。	
	27		1	6		現在改善中である。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			送迎時などに、話す機会を設けて対応させて頂いている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	2	4		今後、検討していきたい。
保護者への説明責任等	30	5	1	1	契約時に、必ず書面・口頭での説明を行っている。		
	31	4	3		相談等があった際は必要に応じてミーティングを設け、迅速にかつ適切な対応を心がけている。	専門家の意見を取り入れながら、必要な助言が適切にできるよう勉強していきたい。	
	32		1	6		保護者会はないが、今後の課題として検討していきたい。	
	33	6	1		苦情や意見に対し、適切な対応は心がけている。苦情は今のところない。		
	34	3	3	1	月に1回しあわせ駅だよりを配布している。		
	35	7			シュレッダー等を活用し書類の破棄などを行っている。 個人情報に記載された書類は、施錠での管理を行っている。		
	36	6	1		電話やライン・送迎時に保護者に話を聞くなど対応している。		
	37		3	4	お散歩の際地域の方と挨拶や優しい声掛け等いただいている。	今後、検討していきたい。	
非常時等の対応	38	2	5			各マニュアルは職員周知・資料も保管しているが、今後、周知徹底にも力を入れたい。	
	39	4	1	2	避難経路の消火設備の確認や訓練も実施している。	まだ改善・解決できない点を今後、考えていきたい。	
	40	6	1		本社にて研修の機会あり。 職員全体で把握できるよう社内でも研修を行っている。休日が異なる為1回に分けて社内研修を行なうなどの工夫もしている。		
	41	6	1		対象児童あり。 保護者に事前に説明を行い計画書等にも記載もしている。	身体拘束については新しい職員にも周知徹底していきたい。	
	42	5	2		対象児童、現在なし。 対象児童がいた際は、情報を共有しアレルギー対応のおやつを準備していた。		
	43	6	1		都度、ヒヤリハット報告書を記入し、事例を全職員へ情報共有するよう努めている。	ヒヤリハット事例集は、作成中である。	